

鶴岡ロータリークラブ会報

8 1 3

1975-7-22 No. 4

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 敦

- ◆ 点 鐘
- ◆ ロータリーソング (われらの生業)
- ◆ ビジターゲスト紹介 —— 会 長
- ◆ 会長報告 (雑 件)
- ◆ 幹事報告 —— 中江 亮君
 - 新会員候補 2 名紹介
 - 山形 RC 創立25年記念式参加者を募る
(昭50.8.5 山形グランドホテル 2F)
 - 認証状伝達式 (373地区 西天草 RC 昭50.10.26 日)
- ◆ 50年度予算説明 —— 半田 浩君
- ◆ 50年度の活動計画について
 - クラブ奉仕委員会 —— 鈴木弥一郎君
 - 職業奉仕委員会 —— 三井 健君 (後述)
- ◆ 前西クラブ会長 半田茂弥氏 挨拶
- ◆ 委員会報告
 - スマイル —— 板垣親睦委員長
 - 交換学生に関するの雑件 —— 小池繁治国際奉仕委員長
 - インターアクトに関するの雑件(後述) —— インターアクト委員会安藤定助君
- ◆ 出席報告
- ◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

50年度活動計画 委員長 鈴木弥一郎
クラブ奉仕委員会

活動計画書にくわしく掲載されてあるので
詳細ははぶく。

50年度活動計画 委員長 三井 健
職業奉仕委員会

第353地区職業奉仕事例集の発行

投稿要領

イ 投稿者 会員又は委員会

投稿部数

- 必ず1クラブ1原稿は掲載します。
- 1部以上投稿の場合は、紙面の都合により掲載出来ぬ場合もあるかと思いますので、その採否は地区委員会にお任せ下さい。

その他

- 1年未満の新クラブは投稿自由とする
- 投稿原稿は、一切返却せず。

ロ 原稿の内容

α 会員の職業奉仕実践事例

ロータリーの奉仕の精神、四つのテストを生かした職業奉仕活動の事例（顧客、仕入先関係、使用人関係、同業者関係、地域社会関係）他会員の実践事例の紹介でも結構です。

β ロータリーの職業奉仕の理念に合致する会員の企業経営方針、店則社訓に関するもの。

γ クラブ職業奉仕委員会の活動の成果に関するもの（勿論、過去の実績に関するもので今後の活動計画ではありません。）

ハ 使用原稿

原稿紙 20字詰×20行 400字用紙
3枚以内。必ず横書、楷書で書いて下さい。

頭書に題名、クラブ名、氏名（又は、委員会委員氏名）

ニ 原稿締切

昭和50年10月31日まで必着。

ホ 原稿送付先

〒997 鶴岡市上畑町5-4
庄内三菱電機商販株式会社
早坂源四郎

TEL (0235) 22-2790

ヘ その他、不明の点は、地区委員長、地区委員へご照会下さい。

委員会報告 委員長 安藤定助
インターアクト委員会

①「インターアクト指導者連絡協議会」の開催

去る7月18日（金）18:00よりひさごやに於てIC校顧問教師とRC、IC役員との「インターアクト指導者連絡協議会」を開催し、次の事項を協議し、指導上の問題点を究明し且つ懇談を行い相互の親睦及び意志の疎通を計り、又相互の理解を深め予期以上の成果を得た。

記

1. 第353地区IC年次大会参加について（行動、経費、服装、参加準備）
2. 指導上の基本「定款、細則」「RI理事会のICに関する方針声明書」について
3. 活動用具とその活用について（国旗、IC旗、点鐘、バッヂ、腕章、文獻、雑誌、ニュース、奉仕具）
4. 資金調達について
5. 例会その他の集会について（定款第5条「会合」細則第3条「会合」例会場のムード作り、記録、報告、その他の集会）
6. 社会奉仕について（計画と事前準備、奉仕の場、方法、反省成果）
7. 国際奉仕について（交歓、文通、その他）
8. 懇談

出席者 R C（三井第353区IC委員長、安藤RC、IC委員長）
鶴高専（児玉先生、篠崎先生）
鶴工高（阿部先生、関口先生）

② 鶴岡工業高校IC認承状到着し、会長・幹事サインの上同クラブに仮伝達いたします。

③ インターアクト委員会の活動も委員ならびに各位の御協力によりどうやら軌道に乗り、各ICも活発に活動しております。之からの重要な活動は年次大会参加、第2学期、例会指導、半期報告準備、第3学期例会指導、学期変更期の指導等に特別の努力をつくしたいと思います。

ある職業奉仕観



早坂源四郎

例会から帰ると、会報委員の石井敬三君から電話があって、今日の例会の週報に出したいから、明日までに何か書いてくれと云う注文である。若い石井君の熱意を無駄にはならぬと、先輩の向笠PGのお話を借用する事にした。向笠さんが357地区の年次大会の職業奉仕部門で、引用された元RI会長の職業奉仕観である。

最初に引用されたのは、1967～68年の会長 Luther H. Hodges (ルーサー・ホッジス) 氏の考え方である。彼がよく言っていた事は“ロータリアンの仕事と云うものは必ず成功しなければならぬ、ロータリアンと云うのは、必ず成功した事業の経営者である筈である。短い目で見てはそうはいえないかも知れないが、長い目でみると自分の職業を最もよく世の中のためになる様な形で運営していくと、職業と云うものは、世の中に存在することが世の人のために役に立つ。役に立つ職業を、最も人の役に立つような方法で運営していくと云う事が長く続けば、結局は繁栄していなければならない筈である。若しそうでなければ、非常に短い期間なら繁栄するかも知れないが、長い目で見ればうまくいかないだろう。”

ロータリアンと云うのは成功した事業の経営者である筈だと云うのが、ホッジス氏の結論でした。

次に1966～67年の元RI会長 Richard L. Evans (リチャード・エバンス) 氏の言葉である。(エバンス氏は私が鶴岡クラブの会長の折、RI会長でした。)

“ロータリーでより好い世界を”のターゲットを出したモルモン教のテレビ講師でした。先年亡くなられましたが、同氏が提唱していた言葉にワン・ウェイ・テストと云うのがあります。四つのテストで無くて一つのテストです。

“それはみんなのためになるか?”

“Is it good for People?”と云う事を、何かやろうとする時に自問自答してみろという事です。もしその答が“イエス”なら、やりなさい。“ノー”だったら、どんなにそれが利益があっても止めなさい。

之をホッジス流に翻訳すると、“それは結局みんなのためにならないから”という事です。みんなのためにならない事業というのは、一時は繁栄するかも知れないが結局駄目になる。どんなに儲るものでも止めなさいと云うのが、エバンス氏の一つのテストです。(以上向笠PGのお話より抜萃)

さて、皆さんこのワン・ウェイ・テストの“みんなのためになるかどうか”という言葉は、四つのテストの第四の言葉と同じものです。日本語では正にその通りですが、原語を調べて見ましょう。四つのテストは“Will it be BENEFICIAL to all concerned”とあります。goodとBENEFICIALとの相違は暫くおいて、私は原語の最後の言葉が問題だと思うのです。四つのテストの“みんな”は、関係者、即ち顧客消費者、従業員、仕入先、同業者等の関係者全員という意味でしょう。

エバンス会長の“みんな”はPeopleで、これはもっと広く社会の人々という意に解すべきでしょう。公害、環境保全、自然との調和、インフレーション、物価等の諸問題を考える時、企業と専門職業人の社会的責任を考える時正に私共のテストは広くPeople全員に向けられる可き時代に在ると云わねばなりません。勿論国際的にも。

私はOne Way Testを発表されたエバンス会長の真意が、どこにあるか知りませんが、私が会長時代に受けた強い印象は、彼の透徹した哲人的面影です。今、彼のこの言葉を思う時、改めて彼の優れた英知に強く胸を打たれた次第です。

スマイル

7月13日 三井徹先生の長男 三井玉男君
県医師会ゴルフ大会で優勝

会報訂正

会報 810-1-2 前幹事就任挨拶 小松広穂は
〔辞任挨拶〕の誤り。
会報 811-2-2 地区協議会報告中、ガバナー
安藤先生は〔バスターガバナー 安齋先生〕の
誤りにつきお詫びして訂正します。

出席報告

本日の出席	会員数	70名
	出席数	54名
	出席率	77.14%
前回の出席	前回出席率	75.71%
	修正出席数	64名
	確定出席率	91.43%

欠席者
阿部(公)君、阿部(襄)君、早坂(徳)君、五十嵐(伊)君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、佐藤(正)君、佐々木君、笹原君、進藤君、高橋(正)君、横山君、津田君、藪田君、吉野君

メイクアップ
阿部(襄)一余目RC 藪田君一新潟RC
石井君、市川君、風間君、小池君、嶺岸君
三井(徹)君、佐藤(正)君、富樫君、菅原(辰)君一鶴岡西RC

ピジター 半田勇三郎君、半田茂弥君一鶴岡西RC